

人への恐れ



レッスン 1: 人を恐れることは何でしょう？

「人を恐れるとわなにかかる。しかし主に信頼する者は守られる。」

(箴言 29:25)

「私と話した多くの人々も、他人の支配力に気づいたことであることに目覚めました。それは、聖書に出てくる『人への恐れ』というものでした。彼らはもちろん神さまを礼拝する人でしたが、心の中では人を恐れていました。これは、他人に対して恐怖を感じるという意味より、聖書ではもっと広い意味に使われます。

人への恐れ以上に、恐れ敬うことや、人に支配されやすいこと、人を信頼しすぎたり、人を必要以上に頼ってしまうことも含みます。つまり、私たちは神様を人と置き換えてしまうのです。神様に対して持つべき尊敬と恐れを、人に持ってしまうのです。」

ウェルチ・エッド、「人が大きく、神さまが小さくなるとき」

1. 私たちはどこでどのように人の恐れと戦いますか？

- 仕事場、学校、人がいるところ
- 他人との対立を扱う時
- 結婚生活や家庭生活の中で
- 教会家族の中で

人の恐れに気が付くための質問

- 仲間からのプレッシャーで困ったことがありますか？
- 断りにくくてしてしまった、人との約束が多すぎますか？
- 人がどう思うか心配で、決めたことを考え直すことがよくありますか？危険性があることが怖いですか？
- 軽いウソをつけますか？
- 恥ずかしがり屋ですか？
- 自分を他の人と比べると、自分に少し自信が持てますか？
- イエスさまを信じていることを伝えるのが恥ずかしい時がありますか？

あなたの生活の中で、どのように人の恐れを経験しましたか？

人を恐れる三つの理由:

-傷つけられるのが怖い

-拒絶されるのが怖い.

-人目にさらされるのが怖い.

どのような人が人を恐れますか？

-I コリント 10:13

2. 私たちはなぜ人を恐れますか？

-過去の経験

-プライド

-人に対して必要性を感じるから

-自分が値するもの、の間違った考え

3. 聖書は人への恐れに対して何と言っていますか？

-アダムとエバの罪から始まった。（創世記 3:6-7）

-長い目で見ていない、不十分な見方。（ルカ 12:4-5）

-破壊的な畏。（箴言 29:25）

-愛に反する。（I ヨハネ 4:18）

-キリストを軽視してしまう。（ローマ 8:35、 38-39）

神様より人を恐れてしまった、聖書に出てくる人

4. 人生の中で人の恐れが結ぶ実

-不満

-よくない依存

-皮肉な考え方

-いやみ

*人の恐れから生じた実として、どのようなものが自分の生活の中に見えますか？

5. 人を恐れても良い時がありますか？それをどのように区別するべきでしょうか？

まとめ

私たちの内に人の恐れが存在していること、そしてそれは、私たちが神様を正しく恐れていないからであることを認識しましょう。